

まちの話題



「海のゆりかご」藻場を守り育てる ～枕崎の海を守る会がトサカノリの藻場づくり

■昨年から海の環境保全活動を目的に活動している枕崎の海を守る会(松野下耕作会長)によるトサカノリの藻場づくりが7月22日、枕崎沿岸で行われました。この藻場づくりは、昨年に続き2回目となります。

藻場は魚のすみかになるため「海のゆりかご」とよく言われるように、幼魚が育つ大切な場所ですが、近年の海上汚染等により全国的に減少傾向にあります。

作業は早朝から始められ、潜水して採取したトサカノリを一旦枕崎港に持ち帰り、約200gずつに分けて麻袋に詰めたもの約450袋を沿岸3ヵ所の海底に沈めました。松野下会長は「この活動を続けることで少しでも昔の豊かな海に近づけたら」と話していました。



ユースアート賞受賞の快挙 ～中村美智代さん

■6月に鹿児島市立美術館で開催された現代美術家団体『AJAC』の第37回展で、中村美智代さん(枕崎せんじ会所属)が、AJAC二

ユースアート賞を受賞する快挙を成し遂げました。

この展覧会は、毎年、東京都美術館で開いていますが、改装中のため鹿児島で開催。約200点の作品から国内外の入賞者が選ばれる中、鹿児島からは、中村さんをはじめ3名が入賞しました。



We LOVE MAKURAZAKI

◎投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。
総務課秘書広報係 E-mail hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp

南薩地区優良子ども会表彰を受賞 ～中原子ども会

■南薩地区子ども会大会が6月19日、南さつま市で開催され、中原子ども会が平成23年度南薩地区優良子ども会として表彰されました。

同会は、常時活動に調理体験をはじめ、多くの体験活動を取り入れるなど、仲よく明るい子ども会活動を行っています。また、グラウンドゴルフやそば作りなどの地域行事に老人クラブの方々と一緒に参加するなど、地域の活性化にも大きく貢献しています。



プロの演奏家が奏でる音色に浸る ～みやまふれあいコンサートinまくらざき

■市自主文化事業『みやまふれあいコンサートinまくらざき』が7月22日、市民会館で行われました。

昨年、ニューヨーク・カーネギーホールでのコンサートで小澤征爾氏の代役として一部指揮するなど、世界的に注目されている本県出身の指揮者の下野竜也さんをはじめ、世界で活躍するピアノ、ヴァイオリン、トランペッタ奏者が出演しました。会場に詰めかけた約850人の観客は、プロの演奏家が奏でる音色に浸りました。



枕崎少年少女合唱団 第5回定期演奏会

- 8月27日(土)
- 市民会館大ホール
- 開場 / 13:30
- 開演 / 14:00
- 入場無料



枕崎七夕の会（板敷浩実代表）主催の東日本大震災復興支援七夕ライブが7月10日、ボケツ公園など枕崎駅周辺の3会場に設けられた特設野外ステージで開催されました。各会場に被災地復興への願いが込められた短冊が飾られ、中、7時間にも及ぶライブがスタート。市内外のバンドやダンス、踊りなど28団体が盛り上がりとなりました。出演した月野裕司さんは「音楽を通して関係者、そしてご来場いただいた皆さんと一緒になれた七夕ライブでした。一日も早い被災地の復興が訪れ、一帯は祭りのような盛り上がりとなりました」と話していました。短冊の売上金などの収益金の一部は、宮城県石巻市に送られました。



犯罪を防止する明るい社会を築くため ～社会を明るくする運動

■7月は「社会を明るくする運動」強調月間でした。この運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築こうとするものです。これに伴い、枕崎市保護司会が7月1日に市役所を訪れ、法務大臣のメッセージを神園市長に伝達しました。

また、7月10日には、市内スーパー前で街頭キャンペーンを行い、チラシや啓発グッズを配布しながら、この運動の意義をPRし、市民の理解を呼びかけていました。



全国制覇を目指してがんばって ～上釜さくらさん 県小学生学年別柔道大会で優勝

■上釜さくらさん(枕崎柔道スポーツ少年団・枕崎小5年)が6月19日、鹿児島市で行われた県小学生学年別柔道大会の小学5年生女子40kg超級の部で優勝。8月28日、大阪市で行われる全国大会に県代表として出場します。この報告のため7月14日、市役所を訪れました。

上釜さんは「今まででは県大会優勝が目標だった、今は全国大会優勝へ向けて稽古に励んでいます」と意気込みを話してくれました。がんばってください。

歌と短冊に込めて
～枕崎七夕の会七夕ライブ